



ザ・センタータウンス パラッショ小田原式番館



基本情報

- ・所在地：青葉区小田原
- ・階数：地上14階
- ・構造：RC造【免震】
- ・戸数：84戸
- ・建築年：平成11年
- ・社の都防災力向上マンション認定
【防災性能】★★★★
【防災活動】★★★★

Q1. 東日本大震災の際、どのように対応し、どのような課題がありましたか？

- ・免震構造だった為、建物の倒壊や内部の被害はほとんどなかったのですが、管理組合による震災関連の情報共有や告知が、後手に回り組織として住民への支援が弱かった。合わせて、備蓄食料や防災資機材が不十分だった為、住民への支援が充分でなかった。

Q2. 東日本大震災を踏まえ、どのような取り組みをしてきましたか？

- ・防災委員会を立ち上げ、防災対策本部を設置し、作成した緊急連絡網を基に非常事態における緊急時の対応訓練を実施しました。

Q3. 東日本大震災の前後や、震災後の防災活動で、マンション内の災害に対する意識の変化はありましたか？

- ・毎年10月に防災訓練を実施する事により、防災意識は徐々に住民の皆様にも定着しつつあると思います。

マンションの概要

防災性能(ハード面)の特徴

【防災倉庫】

- ・1階の共用部分に倉庫設置し、バッテリーや機材等の保管庫として活用

【防災資機材】

- ・最上階(14階)の共用部分に保管箱設置し、投光器や拡声器等を保管



▲防災倉庫(1階)

防災活動(ソフト面)の特徴

【防災組織体制】

- ・組合理事会と町内会とで連携し10名程のメンバーで防災委員会を設置、これに10名程の協力委員も加わり防災活動取組中

【防災訓練】

- ・毎年10月に全体での防災訓練実施、備蓄食料の配布やイベントを企画し、参加率の向上と防災意識の定着に努めております

【地域との協力体制】

- ・仙台市と東六連合町内会主催の合同防災訓練に委員数名が毎年参加し、連携強化に努めております

【その他】

- ・居住者支援マップ作成(高齢独居、高齢世帯、要支援世帯の把握)
- ・緊急連絡網の作成
- ・緊急時の支援ステッカー作成配布



▲防災訓練(対策本部立上訓練)



▲防災訓練(備蓄食料の配布)



▲緊急用資材保管箱(14階)



▲防災訓練(子供向けイベント)



びゅうパーク南仙台



右手前が式番館・左奥が吉番館

基本情報

- ・所在地： 太白区西中田6丁目
- ・階数： 地上14階、地下1階
- ・構造： SRC造、一部RC造
- ・戸数： 154戸
- ・建築年： 平成9年
- ・社都防災力向上マンション認定
【防災性能】★★★
【防災活動】★★★★

マンションの概要

防災性能(ハード面)の特徴

【防災倉庫】

管理棟2階倉庫に加え、3.11を経てロータリー脇に9.9㎡の倉庫を新設。

【防災資機材】

カセットガス発電機2台、無線機12台、ファウンディングテーブル10台 など

【その他】

アルファ米、ミネラルウォーター、豚汁、カセットコンロ、ストーブ など



▲ 非常ホースは2階、4階、7階まで給水可能

防災活動(ソフト面)の特徴

【防災組織体制】

有志による「防災倶楽部」が自主防災組織。

【防災訓練】

実践に役立つアイデアを取り入れています。

【地域との協力体制】

指定避難所運営委員会で活躍しています。

【その他】

管理組合と自治会が協力して防災対策。



▲ 防災倶楽部は年に数回の勉強会を開催

Q1. 東日本大震災の際、どのように対応し、どのような課題がありましたか？

- ・ 電源不要で煮炊きができるタイプの災害用のストーブを2台ほど用意していたため高層階や高齢者を中心にエントランスで炊き出しを行うことができました。集会所の安全性が確認できておらず有効利用することができませんでした。

Q2. 東日本大震災を踏まえ、どのような取り組みをしてきましたか？

- ・ 防災マニュアルの整備と共に自主防災組織「防災倶楽部」を結成して活動しています。災害時向け料理教室の開催、非常給水ホースの整備、暗闇での防災訓練、コロナ禍においては「防災探求ツアー」の開催など参加者を募るためのアイデアを考えています。

Q3. 東日本大震災の前後や、震災後の防災活動で、マンション内の災害に対する意識の変化はありましたか？

- ・ 管理組合も自治会も防災活動に熱心で、有志による防災倶楽部は活動が認められ「太白区まちづくり活動賞」を受賞しました。居住者への啓発にも力を入れています。震災から年を経るにつれて少しずつ危機感は薄れてきている気がします。



▲ 専門家をお招きして災害時の料理教室



▲ 暗闇の防災訓練での救護訓練の様子



▲ マンション内を巡って回答！防災探求ツアー



▲ 指定避難所訓練にも積極的に参加



ライオンズマンション 長町南第2



基本情報

- ・所在地： 太白区泉崎1丁目
- ・階 数： 地上8階
- ・構 造： SRC造、一部RC造
- ・戸 数： 27戸
- ・建築年： 昭和63年
- ・杜の都防災力向上マンション認定
【防災性能】★★★
【防災活動】★★★★

Q1. 東日本大震災の際、どのように対応し、どのような課題がありましたか？

- ・ 防災に限らず管理会社への依存体質があり、居住者による主体的な活動が十分だったとは言えなかった。(例：集会室の利用が総会、理事会、物置などに限定)
- ・ 管理組合として組織的な対応は十分にできず、掲示板による情報共有のほか顔の見える居住者間の助け合いに留まった。

Q2. 東日本大震災を踏まえ、どのような取り組みをしてきましたか？

- ・ 管理組合として自主防災組織(活動推進のための「統括班(常設)」)を設置
- ・ 管理組合として防災マニュアルの作成と全戸配布
- ・ 杜の都防災力向上マンション認定申請(認定番号13)
- ・ 集会室の環境整備とあわせて「ぼうさいカフェ」等で顔を合わせる機会の創出

Q3. 東日本大震災の前後や、震災後の防災活動で、マンション内の災害に対する意識の変化はありましたか？

- ・ 意識は高まった → 管理組合主催防災訓練の世帯参加率：7割以上(令和5年度)

マンションの概要

防災性能(ハード面)の特徴

- 【防災倉庫】
 - ・ 駐車場の空きスペース(半屋外空間)に1台
- 【防災資機材】
 - ・ 非常用電源：ヤマハインバータ発電機(ガソリン)1台
 - ・ 救急資機材等：救助用資器材、防災用品を杜の都防災力向上マンション認定基準に応じて整備など



▲ヤマハインバータ発電機

防災活動(ソフト面)の特徴

- 【防災組織体制】
 - ・ 自主防災組織(「統括班(常設)」)
- 【防災訓練】
 - ・ 管理組合主催で開催(毎年、1回/年)
 - ※ 一般論ではなく実際の設備・備物を踏まえた内容で企画・実施
 - ・ 発電機の試運転(1回/月、統括班)
- 【地域との協力体制】
 - ・ 泉崎1丁目北町内会の1区12班として世帯加入
 - ・ 町内会役員を居住者から輩出
 - ・ 泉崎地区町内会連合会主催の防災訓練に参加(毎年、1回/年)
- 【その他】
 - ・ ぼうさいカフェ&ぼうさいまち歩き(毎年、4~5回/年) など



▲防災訓練(2023.9.30)



▲防災訓練(2023.9.30)



▲ぼうさいカフェ(集会室、2024.4.13)



▲ぼうさいまち歩き(三神峯公園、2024.4.13)



ザ・ライオンズ定禅寺タワー



基本情報

- ・所在地: 青葉区国分町3丁目
- ・階数: 地上29階
- ・構造: RC造[免震]
- ・戸数: 192戸
- ・建築年: 平成24年
- ・社の都防災力向上マンション認定
[防災性能] ★★★
[防災活動] ★★★

マンションの概要

防災性能(ハード面)の特徴

- 【防災倉庫】
 - ・ 2箇所あり
 - ・ 飲料水、非常食や防災備品の保管
- 【防災資機材】
 - 非常用トイレ、ガス発電機、投光器、担架、イーバックチェア



▲ホバリングエリア



▲防災倉庫

防災活動(ソフト面)の特徴

- 【防災組織体制】
 - ・ 防災員会設立(2015年)
- 【防災訓練】
 - ・ 2014年から過去10回実施
- 【地域との協力体制】
 - ・ 加入する春日町会の地域防災備蓄倉庫をマンション内に設置
 - ・ 地域の防災訓練にマンションからも積極参加
- 【その他】
 - ・ 防災マニュアル、ハンドブックなどを作成配布
 - ・ 安否確認シート全戸配布
 - ・ 居住者防災情報カードを作成し各戸の状況把握
 - ・ 社の都防災力向上マンション認定制度(2016年)

Q1. 防災活動に対する合意形成を、どのように進めていきましたか？

- ・ 防災委員会を中心に毎年様々な工夫を凝らした防災訓練の計画実施を通してマンションの防災のあり方についての一定の共通認識が形成された。
- ・ 居住者防災情報カードの作成と回収

Q2. 防災活動を行うにあたり、どのような点に工夫しましたか？

- ・ 多くの住民に関心を持ってもらう内容
 - ： 青葉消防署による放水、炊き出し、VR体験、ポスターコンテストなど
- ・ マンションでの実際の災害を想定した内容
 - ： 隔壁けり体験、土嚢積み、水消火器、AED体験など
- ・ 固定メンバーを避けるための防災委員の半輪番制

Q3. 防災活動を実施するなかで、マンション内の災害に対する意識の変化はありましたか？

- ・ 2022年3月の福島県沖地震発生時は夜にも関わらず住民が自主的にロビーに集まり分担をしながら、住民の安否の確認、設備の状況などを見て回る組織的な活動が機能した。



▲防災委員会組織図



▲安否確認シート



▲▶ 防災訓練の様子

